



令和2年11月12日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	マイ・ミュージアム係	金子 好孝	代表 0575-28-3111 内線 306 FAX 0575-28-3110

令和2年度 博物館学芸講座

講演会「初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器」

を開催します

岐阜県博物館では、令和2年度に「博物館学芸講座」を全5回開催します。第3回となる今回は、当館の立花 昭 学芸員による講演会を開催します。

2025年に大阪・関西万博開催が決まり、徐々に万博そのものに対する関心が高まりつつあります。その歴史は1851年のロンドン万博にはじまり、日本は幕末の1867年パリ万博で正式に参加を果たしました。このことなどがきっかけとなり、19世紀後期に欧米でジャポニズムといわれる日本ブームが沸き起こり、日本の美術や工芸品が注目をあつめることとなります。明治政府は殖産興業を促進すべくブームに乗じて輸出振興を図り、多くの陶磁器が海を渡っていきました。この輸出陶磁器が近年大量に里帰りしており、その全容が解明されつつあります。

講演では、初期万博の歴史をたどりながら、その時々どのような日本の陶磁器が、いかなる形で輸出されていったのかなどをたどります。



1873年ウィーン万国博覧会会場

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・変更とする場合には、改めてお知らせします。

- 1 開催日 令和2年12月12日(土) 13:30~15:00
- 2 会場 岐阜県博物館マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール
(関市小屋名1989番地)
- 3 対象 中学生以上
- 4 定員 65名(定員になり次第、締め切ります)
- 5 参加費 無料 ※ただし、博物館本館の展示を観覧される場合には、入館料(一般340円、大学生110円、高校生以下無料)が必要です。
- 6 申込方法 (1) 岐阜県博物館ホームページ
(2) 電話 0575-28-3111
受付開始は11月12日(木)~
受講希望の講座名、連絡先(電話番号)、参加申込者全員の氏名をお伝えください。
※休館日を除く8:30~17:15まで受け付けます。
<休館日>毎週月曜日(月曜が祝休日の場合はその翌平日)
- 7 問い合わせ先 岐阜県博物館(電話番号:0575-28-3111(代))

岐阜県博物館

検索

【講師紹介】立花 昭 学芸員

- 1970年 岐阜県生まれ
- 1993年 立命館大学文学部卒業
- 1993年- 多治見市文化財保護センター、国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会など
- 2009年- 岐阜県現代陶芸美術館
- 2019年- 岐阜県博物館(現職)